



Japan Latin Music Festival "timba"2022
渋谷Stream Hall,photo by Kengo Abe

SiNGO

世界を舞台に活躍し、日本のラテンミュージックシーンを牽引するSiNGO
熱狂と感動、Realな体験を、日本に。

SiNGO (バンド) PROFILE

アフリカのリズムとヨーロッパの音楽がキューバ中南米で出会い、NY都市部で発展を遂げたラテンミュージックは人類の叡智の結晶ともいえる、聞く人の心をポジティブに、勇気と力を与える、世界中で愛される究極の音楽です。

ラティーノたちにとって音楽、リズムは、日々の支えであり、生きるために必要不可欠な存在。そんなRealリアルな音楽体験を日本のオーディエンスに伝えたい。

東京渋谷で実質上初の本格的なラテンミュージックのための音楽フェスティバルをプロデュースし、日本のラテンシーンを牽引し続けるSiNGOの圧巻のパフォーマンスによって、RockでもJ-Pop,Jazzでもない新しい音楽で、日本の音楽シーンを新フェーズへ導きます。

【特徴】

- ・日本のポップシーンに響く、日本語とスペイン語を織り交ぜた世界観
- ・キューバの新しいラテンミュージックTIMBAをベースに、J-Popミュージックの要素を融合
- ・キューバのトップレベルでの活躍歴ミュージシャンと日本のトップミュージシャンらによるワールドクオリティのサウンドとパフォーマンス
- ・総勢最大12名のオルケスタ編成（調整可能）

【主な活動歴】

2005年 グローバルフェスタ（日比谷野外音楽堂） 2009年日本キューバ友好フェスティバル（上野野外音楽堂）

2010年 フジロックフェスティバル'10

2020年 銀座YAMAHAホール オンライン無観客公演 "La Nueva Forma Creativa -新創造的様式- "

2021年 SiNGO JAPAN TOUR2021 "de.REAL"

2022年 SiNGO JAPAN TOUR2022 "de.REAL 2.0"

Japan Latin Music Festival 2022 "timba"主催、出演

詳しい情報はこちら ➡



About SiNGO

ラテンミュージックアーティスト
プロデューサー、ディレクター
CABIOSILE 代表

世界最強のラテン音楽の聖地、キューバ

SiNGOはそのキューバにおいて、外国人でありながらプロミュージシャンとして演奏活動を始め、キューバ音楽史上初の偉業を達成しました。現在はNYを拠点に活動を続けています。

卓越したピアノのテクニックと、ラテンにとらわれない独創的なセンスを持ち、作曲からディレクションまで行う、日本で唯一のワールドクラスのラテンミュージックアーティスト。

キューバンスタイルとNYスタイルの2つのラテンスタイルを自在に演奏できる稀有な“二刀流”。ニューヨーク、キューバを中心とした、グラミー受賞ミュージシャンとの演奏活動を続ける。ラテンピアノの奏法Tumbáo（トゥンバオ）は高い評価を受けている。

Santeria（サンテリア）やRumba（ルンバ）等アフロ・キューバンミュージックのパーカッションも実際の儀式で演奏するなど造形が深い。

[略歴]

- 2007年 キューバ居住を皮切りにソロアーティスト活動にシフトし海外活動を開始。
キューバ国内にてtimbaのレジェンドたち共にファーストアルバムレコーディング
- 2017年 キューバを代表するバンド KLIMAX クリマックス
3年間正式メンバーとして活動。日本人はもとより、外国人がキューバ国内のメジャーグループに所属した前例はなく、キューバ音楽史上初の快挙を成し遂げた。
- 2022年 NYでの本格的活動を開始
- 2020年 CABIOSILE主宰を務め、
- 2022年 ラテンでは日本初となる都市型ラテンミュージックフェスティバル通称“Feslatimba”の発起人となり
日本におけるラテン音楽、カルチャーの発信に力を入れている。



SiNGO web

